

● 広報

おくび



2012

2

NO.688



～ 笑顔はじけるスキー日和 ^{びより} ～

久しぶりに晴れた1月18日。横根スキー場で、小国小学校4年生のスキー授業が行われていました。澄んだ空気と青い空、白銀のゲレンデには、雪を楽しむ子どもたちの笑顔が輝いていました。

伝承文化に学んだ地域の魅力

小国高校が「地域の伝承文化に学ぶ」コンテストで最優秀賞受賞

地域文化学に取り組んでいる小国高校1年の研究班が、本年度、第7回「地域の伝承文化に学ぶ」コンテスト（国学院大学・高校生新聞社主催）の研究レポート（団体）部門で最優秀賞に輝きました。受賞した研究テーマは、地域文化学第3班（齋藤香穂班長）が取り組んだ「昔物語から探る小国町」です。小国高校では、本町独自の小中高一貫教育の推進に当たり、「地域文化学」に取り組んでおり、県内を中心とした大学などと連携した学習を進めています。今回は、受賞した地域文化学の内容を紹介しながら、地域の伝承文化の大切さについて考えます。



郷土を愛する 心を育てる地域学習

本町の小中高一貫教育では、国際・情報教育とともに、小中学校では「白い森学習」、高校では「地域文化学」として地域学習に取り組んでいます。小学校では身近な地域のことを学び、中学校では社会環境の変化などを捉えながら町全体に学習の対象を広げ、高校では大学等と連携して自分たちの地域をより広い視点で



地域文化学の授業の様子

研究するなど、段階的に学習内容を発展させながら、子どもたちの郷土を愛する心の育成を図っています。地域学習の最終段階といえる小国高校の地域文化学には、1年生が7班に分かれて（表1）取り組んでいます。

地域学習の

成果が高く評価

「地域の伝承文化に学ぶ」コンテストは、高校の総合



木地師に関する史料を調査

■表1

平成23年度 地域文化学

各班の研究テーマ

第1班

小国の地質・地形の成り立ちについて

第2班

農業廃棄物を利用した
汚染飲料水浄化プロジェクト

第3班

昔物語から探る小国町

第4班

Oguu第4号の発行
～「食」と「人とのつながり」から
小国の未来を考える～

第5班

私たちが考えるパワースポット
～小国町の魅力を求めて～

第6班

小国町の保育・介護の現状

第7班

小国町の医療・福祉の現状

学習等の時間を利用した地域研究を発表する機会などを通して、さらに研究を深めてもらうことを目的に実施されており、今回で7回目を迎えました。研究レポート(団体)部門には、全国から40点の応募があり、選考の結果、小国高校が初めて最優秀賞を受賞しました。国学院大学によると、「計画的な聞き書き調査によって、豊かな民俗文化が描かれている。特に木地師の調査報告が貴重である」と評価しています。

「昔物語から 探る小国町」 研究を振り返って



小国高校1年
齋藤香穂さん

研究を振り返り、班長を務めた齋藤香穂さんは、次のように話してくれました。「語り部の後藤弘子さん(緑町)に、昔語りをして

いただきました。それは大石沢地区に伝わるもので、その地区を調べてみると、近江国(現在の滋賀県)が発祥とされる木地師という職人が暮らしていたことが分かりました。そこで、どのような経路で大石沢に移り住んだのか、その木地師の子孫である小椋成一さん(幸町)から木地師の史料を見せてもらい、木地業に関する歴史を調査しました。その結果、小国の木地師は、越後からだけでなく、福島方面から入ってきた可能性もあることが分かりました。また、現在の木地業として、長井市のけん玉製造会社を取材させていただき、最先端の木材加工技術も見せてもらいました。研究を通じて、時代を超えて受け継がれる小国の物語の素晴らしさを実感しました。また、木地師は、豊かな材やウルシなどを求めて小国町に辿り着いたことから、この地域が昔から良材に恵まれた環境であったということを確認しました。私たちの

研究が最優秀賞をいただき、受け継がれる伝承文化や、豊かな自然環境を、次の世代に引き継いでいきたいという思いが強くなりました。」

今後も発展、充実を

小国高校の武田悟校長は、次のように話しています。



小国高校
武田 悟 校長

「小中高一貫教育における小中学校での学習の積み重ねは、郷土の基礎知識の取得や、発表資料をパソコンで作成する場合などで生かされていると感じています。大学等と連携することで、町内だけでなく、置賜地域全体など、より広い視点で研究内容をまとめることができており、生徒が将来必要とする課題解決力の

育成に役立つものと考えます。学校としても、充実、発展させていきたいと考えています。」

地域のかたの協力と 大学等との連携

「昔物語から探る小国町」という研究テーマは、平成20年度から継続して取り組んでいます。いずれも小国に伝わる昔話から、小国の伝承文化を研究していくもので、語り部をされている後藤弘子さん（緑町）が、実際に昔語りを披露しながら、伝えられている地域や、その背景、また意味するところなどを生徒に解説しています。

地域文化学においては、県内を中心とした大学等の教授などによる講話や、高校生が大学というフィールドと一緒に研究するなど、大学等と連携した研究を進めており、「昔物語から探る小国町」の研究においては、東北文教大学短期大学

VOICE

研究を終えて



渡部 志ノさん

歴史を引き継いでいるかたがたとお会いし、直接お話しすることができて良かったです。



小川 奈美さん

パソコンを使って発表資料を作るのが大変でした。小国のことを詳しく知ることができて良かったです。

副班長

塚原 奈々枝さん

小学校や中学校で小国のことを学んだ基礎知識が、研究に役立ちました。



鈴木 拓磨君

初めて昔語りを聞きました。こういう文化が残されているとは知りませんでした。



今 眞人君

約900年前から保管されている木地師の史料を手にとってみて、緊張しました。とても貴重な体験になりました。

渡邊 宗一郎君

けん玉製造会社を取材して、玉の部分がヤマザクラ、皿の部分がブナで作られていると聞き、驚きました。





東北文教大学短期大学部
菊地 和博 教授

部の菊地和博教授が指導にあたられています。

菊地教授は、伝承文化に学ぶことの大切さについて次のように話してくれました。

「生徒には、小国町で伝承されている芸能や技術、民話などについて、研究の視点や方法などをアドバイスしてきました。文献などから得る知識も大切ですが、地域の人を訪問して直接お話しし、自分の目で確かめることが大切です。『歩く』『見る』『聞く』ことによって、自信を持って話すこと、書くことができるようになります。世の中の社会現象は、地域文化の色々な面に連関しています。『地域から世界が見える』ということとで地域を学ぶことによって世界の動きも見えてくるのです。また、過去を振り

返りながら、自身の歴史と、地域の歴史とを重ねて見ることで、自分の存在を複合的に捉えていく視点を得ることが出来ます。地域の歩み、自然、風土、歴史を知ることがは、地域づくり活動を行うっていくうえでの手掛かりを得ることになります。白い森学習や地域文化学の研究は、次の世代に伝承文化をつないでいくための大事な作業だと思っています。大人が、地域の若い人たちの取り組みを受け止め、評価していつてあげることが大切です。」

地域の良さを

発見できる人に

地域文化学で講話した語り部の後藤弘子さんは、次



語り部
後藤 弘子さん

のように話してくれました。「生徒たちは、熱心に私の昔語りを聞いてくれました。昔語りは、親から子へ語り継がれてきたもので、昔の人々の考え方や、地名の由来にまつわる伝説が多くあり、小国の成り立ちを知る機会になると思います。地域学習は、地域を知る上でとても大切ですし、いい取り組みだと思っています。小国の子どもたちには、地域を大事にする心を持つとともに、地域の良さを見つけれられるようになってもらいたいと考えています。」

地域文化の

再認識は、人づくり、まちづくりに大切

本町の地域学習では、小中学校、高校、大学等の教育機関の指導や、地域のかたがたの協力など、多様な機関が関係し、教育内容が深まり、子どもたちが自分たちの地域の良さや課題を再認識・再発見する機会と

なっています。また、小国高校が取り組んでいる「森の聞き書き甲子園」への参加についても、地域の文化を深く掘り下げる契機となつています。

本町に残る生活文化、生活技術は、先人たちが自然と深くかかわることによって培われたものです。これら学び、受け継いでいくことは、自分たちが住む町、地域の成り立ちや、気候・風土などの環境について特性を理解することにつながり、地域の誇りを再認識することとなります。また、子どもたちがやがて社会人になり、地域の課題に向きあったり、地域づくりを実践したりする立場になったときに、自信をもってその解決策や方向性を決めることができるでしょう。

町では、引き続き小中高一貫教育の充実、発展を図り、白い森学習、地域文化学などによる地域学習の成果を評価しながら、次代の小国を担う人づくりに努めていきます。

小国町臨時議会

平成24年第1回小国町議会臨時会が、1月20日に開会されました。豪雪に伴う除雪経費等などに関する一般会計補正予算が審議され、原案のとおり可決されました。

この結果、1億6,130万円を追加し、補正後の予算総額は63億2,270万円となりました。

除排雪経費等に

1億6,130万円

を追加

昨年12月中旬から降り出した雪は、断続的に降り続いており、小玉川地区では1月15日に307センチメートルの積雪量を記録するなど、町内各所で昨年同期を上回っている状況にあります。このため、町では、町民生活の一層の安全確保に取り組むこととし、不足が見込まれる道路及び教育



施設などの除排雪経費等について、所要経費を追加しました。

また、一人暮らし高齢者等の除雪を支援する「高齢者等暮らし応援事業」について、豪雪に伴い利用回数が増加していることから、限度額を3万6,000円から7万2,000円に引き上げることとし、所要額を追加しました。

緑のふるさと協力隊便り

シリーズ9

マタギと狩りに行って感じたこと

神田 やよい

この冬、金目マタギの皆さんのウサギ狩りに勢子(せしこ)として一緒に行かせてもらいました。声を上げて、ウサギを追いましたが、思い通りに逃げてくれませんでした。しかし、それが成果につながったとき、とてもうれしくてガッツポーズをとりました。

私は、熊狩りに同行したことはありませんでしたが、金目マタギの皆さんには、春の時期から度々お世話になっていました。

いろいろなお話を聞いたり、一緒に山に行ったりする中で、「山を覚えるのに地形図は使わない」と聞いた時には驚きました。

論理や紙の記録を見て理解すること、マタギの皆さんは経験や慣習の中で山のことを習得してきたのです。いくら机の上で勉強したところで、

実際に山の上で本物と向き合ってきた人の知識や経験にはかなわないと思いました。

金目マタギは「自分の経験で知ったことを後輩に伝えていかないと進歩がない」と言っていて、私に何でも教えてくれました。伝統を受け継ぐだけじゃない、その先のことを考えていく事も大事だと感じました。



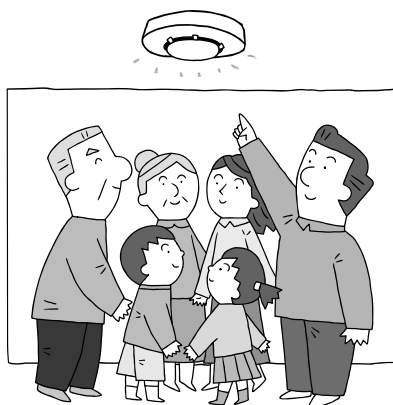
シリーズ 防災・減災を考える ⑩

住宅用火災警報器の

設置はお済みですか？

熱や煙を感知し、音声等によって火災の発生をいち早く知らせてくれる住宅用火災警報器は、消防法の改正などにより、平成23年6月1日から、全ての住宅で設置が義務付けられています。多くの皆さんはすでに設置されていると思いますが、改めてその必要性について考えます。

住宅火災で亡くなった人のうち、約7割が「逃げ遅れ」



と言われています。また、「逃げ遅れ」は、夜間就寝中に火災が発生する例も多いことが要因と考えられています。また、今年に入り、県内でも火災による死亡事故が発生しており、住宅用火災警報器が設置されていれば予防につながったのではという報道もあります。

消防庁が平成20年から22年までの3年間に発生した火災42,040件のデータを基に、火災警報器の効果进行分析した結果では、死者数、焼損床面積、損害額のいずれの場合においても、概ね半減していることが確認されています。

火を出さないことが一番ですが、万が一の火災の発生に備えて住宅用火災警報器を適切に設置し、早い段階で火災を察知することが、

命や財産を守る重要なポイントになります。

設置場所		階段	設置が必要
寝室(子供)	勉強部屋	2階天井に設置が必要	寝室(大人)
書斎	居間		台所
設置が必要	設置不用		設置が望ましい
設置不用	設置不用		

設置場所

煙感知式の警報器を取り付ける場所は寝室と、寝室が2階にある場合には、階段です。また、設置義務はありませんが、台所に熱感知式の警報器の設置が推奨されています。

お手入れも必要です

- 住宅用火災警報器にほこりが付くと感知しにくくなります。濡いた布などで取り除いてください。
- 定期的に点検することが

必要です。本体のボタンを押す、下がついているヒモを引くなどして、警報音が鳴るか確認しておきましょう。

- 住宅用火災警報器は、電池交換が必要です。電池が切れそうになったとき、音や光などで知らせてくれる機能があります。
- ※点検方法等については、各メーカー、機種により異なりますので、取扱説明書をご確認ください。

警報音が鳴ったら

まずは火災が発生していないか、煙やにおい、熱を感じないか確認しましょう。火災が発生したら、

- ①大声で火災発生を知らせる
- ②初期消火ができそうであれば、消火器や風呂の残り湯等で消火する
- ③消火が困難であれば、すぐに避難して119番へ通報する

万が一に備え、設置していただければ早めの設置を、また、定期的な点検を行い、火災予防に努めましょう。

2月10日(金)～3月15日(木)

町・県民税の

申告相談が始まります

平成24年度分の町・県民税申告相談を開催します。申告期限は3月15日までですので、忘れずに申告してください。

◆町・県民税の

申告が必要なかた

申告が必要なかたは、「平成24年1月1日現在で、小国町に居住されているかた」です。

ただし、次に該当するかたは、町・県民税申告書の提出を省略することができます。

- 税務署に確定申告をしたかた

- 年末調整済みの給与収入のほかに収入がないかた

※申告書を送付されないかたでも、平成23年中に収入があったかたや年末調整済の給与以外に所得があったかた、各種所得控除を受けたかたなどは、申告の必要があります。

◆平成23年中まったく

収入がなかったかたは？

申告書右上に「収入なし」、合計所得欄に「0」と表示し氏名欄に押印のうえ提出してください。

特に、次のようなかたは忘れずに申告してください。

- 国民健康保険加入者または加入予定者

- 後期高齢者保健加入者及びその世帯主

- 介護保険加入者及びその世帯員

- 国民年金免除申請をお考えのかた

- 所得や税関係の証明書が必要なかた

※障害年金や遺族年金は町・県民税の算定には含まないので、申告する収入、所得

金額に記載しないようご注意ください。この収入のみのときは収入なしの表示でかまいません。

◆申告に必要なもの

① 申告書および印鑑

② 収入と支出が確認できる書類

- 給与・公的年金収入：平成23年分の源泉徴収票

- 営業・不動産収入：収支内訳計算書、売り上げや仕入れの帳簿類、必要経費の領収書など

- 農業収入：農産物の出荷伝票、仕切書、領収書、借入金利子証明書、新しく購入した農機具などに

- 関する書類、補助金、交付金、補償金等の収入が確認できる書類、取扱い通帳など

- 雑収入・一時所得：支払証明書や通帳など収入金額が確認できる書類

- 譲渡所得：売買契約書や経費の領収書、公共事業による買取の場合は3枚組の収用証明書など

③ 所得控除を受ける場合に

必要な各種証明書や領収書、支払金額を証明する書類など

④ 通帳など、申告者本人の口座が確認できる書類

変更点にご留意ください

平成23年分所得に対する扶養控除が変りました。

- 平成8年1月2日以降に生まれた扶養親族（年少扶養親族）が控除対象ではなくなりました。

- 特定扶養親族（控除）の対象範囲が19歳以上23歳未満に変更されました。

- 同居の特別障害者に対する控除が、扶養控除への加算ではなく、障害者控除での同居の特別障害者に対する控除額として設定されました。

※年少扶養親族は控除対象ではなくなりましたが、扶養親族であることの申告は必要です。また、年少扶養親族が障害者であるときの障害者控除は受けることができますので、申告の際はご注意ください。

町・県民税 申告相談受付日程

※駐在地区名で表示してあります。

月 日	相 談 会 場	受 付 時 間	相 談 対 象 地 区 名
2月10日(金)	役 場 大 会 議 室	午前の部 9時～11時 午後の部 1時～4時	小国町1・2 坂 町1・2
13日(月)		午前の部 9時～11時 午後の部 1時～4時	緑 町1 緑 町2
14日(火)		午前の部 9時～11時 午後の部 1時～4時	駅 前1・2 栄 町1・2
15日(水)		午前の部 9時～11時 午後の部 1時～4時	本 町1・2 幸 町2
16日(木)		午前の部 9時～11時 午後の部 1時～4時	本 町3、幸 町1 上岩井沢
17日(金)		午前の部 9時～11時 午後の部 1時～4時	坂 町3・5 地蔵町
20日(月)		午前の部 9時～11時 午後の部 1時～4時	町 原 東 原
21日(火)		午前の部 9時～11時 午後の部 1時～4時	あけぼの 松 岡
22日(水)		午前の部 9時～11時 午後の部 1時～4時	綱木箱口 伊佐領
23日(木)		午前の部 9時～11時 午後の部 1時～4時	旭 町、小 芦 北、西
24日(金)		午前の部 9時～11時 午後の部 1時～4時	平 林 増 岡
26日(日)		午前の部 9時～11時 午後の部 1時～4時	休日相談日 休日相談日
27日(月)		午前の部 9時～11時 午後の部 1時～4時	種 沢 大 滝
28日(火)		午前の部 9時～11時 午後の部 1時～4時	岩井沢1 岩井沢2
29日(水)		午前の部 9時～11時 午後の部 1時～4時	兵庫館1 兵庫館2
3月1日(木)		午前の部 9時～11時 午後の部 1時～4時	大 宮、宮の台 田沢頭
2日(金)		午前の部 9時～11時 午後の部 1時～4時	小 渡 館
5日(月)		午前の部 9時～11時 午後の部 1時～4時	尻無沢 舟 渡
6日(火)	役 場 大 会 議 室	午前の部 9時～11時 午後の部 1時～4時	今 市 古 田
7日(水)	梅 花 皮 荘	午前の部 9時30分～11時 午後の部 1時～3時30分	小玉川、泉 岡 長者原、玉川中里
8日(木)	玉川コミュニティーセンター	午前の部 9時30分～11時 午後の部 1時～3時30分	足野水、中田山崎、片 貝 玉 川、玉川新田
9日(金)	水 源 の 郷 交 流 館	午前の部 9時30分～11時 午後の部 1時～3時30分	上叶水、下叶水 新 股、河原角、上大石沢、下大石沢
12日(月)	越 中 里 公 民 館	午前の部 9時30分～11時 午後の部 1時～3時30分	六ヶ字 越 長
13日(火)	白 沼 小 中 学 校	午前の部 9時30分～11時 午後の部 1時～3時30分	白子沢、間 瀬 沼 沢1・2
14日(水)	足中克雪管理センター	午前の部 9時30分～11時 午後の部 1時～3時30分	足水中里、樽 口 市野沢、百子沢
15日(木)	り ふ れ	午前の部 9時30分～11時 午後の部 1時～3時30分	三ヶ字、石 滝 五味沢

★申告に関する相談が必要な場合は、できるだけお住まいの地区相談日にお越しくださるようご協力をお願いします。

なお、お住まいの地区相談日にご都合がつかないときは、ほかの地区の相談日にお越しいただいても差しつかえありませんが、休日相談や最終日など日によって込み合う場合もありますのでご了承ください。

幻想的な雪灯りを楽しみました

～ほのぼの雪灯り回廊～

観光客と一緒に雪灯ろうを作るイベント「ほのぼの雪灯り回廊」が、1月14日に小玉川地区で行われました。これは、雪に親しむ機会を提供し、冬季の誘客を図ろうと、「ぶな清水の郷南部営農組合（渡邊正義組合長）」、おぐに白い森株式会社が主催したものです。

当日は、泡の湯温泉三好荘の宿泊客など約20人が参加し、三好荘前や、旧小玉川小中学校前から飯豊梅花皮荘前までの沿線の雪の壁に、約150個の雪灯ろうを作成しました。点灯された雪灯ろうは、幻想的な空間を作り出していました。



夜空の下、炎に祈る

～小正月の伝統行事「さいす焼き」～

1月中旬、町内各地で小正月の伝統行事、さいす焼きが行われました。

白沼地区では、1月14日、白沼小中学校のグラウンドで行われ、約50人が参加しました。ワラやカヤを円錐形に積み重ね、その中に、子どもたちが各家庭から集めた門松や古札などを入れてお歳頭を作り、点火しました。

参加者は、燃え盛る炎に向かって「ヤハハエロ～」と大声で叫びながら、無病息災を祈りました。



地域で採れたものを楽しむ食生活を

～食育教室～

小国町地産地消推進協議会（会長・小野精一町長）が主催した食育教室が、1月21日、すみれ保育園で行われました。

講師を務めたのは、農業を営む傍らで食育活動も実践している山口ひとみさん（大石沢）で、参加した保護者に対して「地域で採れたものを楽しむ食生活を送ってほしい」と語りました。

また、園児と保護者を対象とした「雑穀おにぎりづくり」も行われ、子どもたちは美味しそうに味わっていました。

いろいろな編み方を学びました

～第30回つる細工講習会～

小国町観光協会が主催した「第30回つる細工講習会」が、1月18日から20日までの間、飯豊梅花皮荘で開催されました。小国町の伝統工芸である「つる細工」を体験しようと、県内外から約50人が参加しました。

当日は、小国町つる工芸の会（高橋初太郎会長）の会員が指導にあたり、初めてつる細工を体験するかたに、アケビやトウなどを使ったかごやかばんの編み方を丁寧に教えていました。また、参加者同士が互いに教え合いながら、いろいろな編み方に挑戦する姿も見られました。



参加者からは、「インターネットで開催情報を見て参加しました。小国町はつる細工の本場だと思います。いろいろな編み方を覚えていきたい」「たくさん作品を作り、家族へのお土産にしたい」との声が聞かれました。

また、閉会行事には、第30回の開催を記念して「山形おきたま愛の武将隊」による演武も行われました。勇壮な演武に盛んな拍手が送られていました。

笑顔キラリ

Smile.10

齋藤 美穂さん

DATA

- さいとう みほ
- 年齢/27歳 ●住まい/石滝
- 趣味/カラオケ、温泉巡り、バーベキュー

Saito
Miho



コバレントマテリアル(株)に勤務し、石英の加工を担当しています。日々の業務では、より良い製品を短時間で仕上げられるよう心がけています。

また、おととしから小国町消防団の団員として活動しています。女性消防団員の活動としては、消防演習や出初式の運営補助などがあります。火災のない安全なまちづくりに少しでも協力したいと考えています。

仕事でも、消防団活動でも、積極的に新しい情報を吸収して成長し、成果につなげていきたいと思っています。

お知らせコーナー

募集

町営住宅入居者募集

《あけぼの団地》

3DK 1戸（2階）

▽家賃 所得と家族構成により決定します。

▽対象 所得制限がありますので、お問合せください。

《岩井沢勤労者住宅》

3DK 2戸（3階・1階）

▽家賃 42,000円

▽対象 町内の事業所にお勤めのかた

■敷金 家賃の3カ月分

■募集期限 2月9日(木)

■入居時期 2月下旬以降

■問合先

地域整備課建設管理室へ

県営住宅入居者募集

■募集住宅 3DK 5戸

▽家賃 所得により決定

▽対象 同居親族がいるかた（所得制限あり）

■敷金 家賃の3カ月分

■募集期限 2月10日(金)

■入居時期 3月下旬

■問合先 県営住宅指定管理者(株)西王不動産置賜事務所
(0238-24-2332)へ

平成24年度

「さいわい荘」職員募集

■介護職員（臨時職員）

・募集人員 4名

・勤務時間 交替制

・ヘルパー2級以上の有資格者で夜勤が可能なかた

※正職員への登用制度あり

■介護職員（パート）

・募集人員 6名

・勤務時間 午前9時15分から午後1時15分、または

午後2時から午後6時

■デイサービス介護職員（臨時職員）

（臨時職員）

・募集人員 1名

・勤務時間 午前8時30分から午後5時30分

■申し込み

履歴書をさいわい荘まで提出してください。（履歴書はさいわい荘で準備しています）後日、面接の日時をご連絡します。

■申込・問合先

さいわい荘(62-3821)へ

小国町交通安全 専門指導員を募集します

■募集資格・人員

本町に居住する20歳以上のかた（普通自動車免許所持者）1名

■勤務内容

交通事故の防止に関すること及び交通安全教育の普及・指導

■勤務場所

小国町役場町民税務課

■勤務時間

午前8時30分～午後5時15分

※週31時間（月曜日から金曜日までのうち4日間）の勤務

■給与

月額110,000円

■採用予定日

平成24年4月1日

■申し込み方法

2月29日(水)までハローワークまたは町民税務課へ履歴書を提出してください。後日面接を行います。

■問合・申込先

町民税務課町民生活担当へ

町内の空間放射線量をお知らせします。

～ いずれの場所も人体に対して影響のない水準です ～

■1月12日(木)・13日(金)の空間放射線量

測定場所	測定値 ($\mu\text{Sv/h}$)
北部小中学校 駐車場	0.08
沖庭小学校 グラウンド	0.02
旧小玉川小中学校 駐車場	0.07
旧玉川小中学校 駐車場	0.07
小国小学校 駐車場	0.09
小国中学校 駐車場	0.08
叶水小中学校 グラウンド	0.04
旧伊佐領小学校 駐車場	0.07
白沼小中学校 駐車場	0.09

※測定値は地上から50cmの高さの値で、単位は1時間あたりのマイクロシーベルトです。

■問合先

町民税務課町民生活担当へ

今月の町長と語る日は2月22日(水)です。お気軽においでください。
皆さんの声をお寄せください。

町長室専用メール shiroimori@town.oguni.yamagata.jp

町長室専用FAX 0238 (62) 2611

3月の子育てカレンダー

■問合先 健康福祉課または子育て支援センターへ

◆対象となるかた

■あそびの広場、

なかよし広場、

ゆきんこ広場

入園前のお子さんと
保護者

■乳児の健康相談

生後5ヵ月から11ヵ
月のお子さん

■4ヵ月児健診

平成23年11月生まれ

■1歳児健診

平成23年3月生まれ

■1歳6ヵ月児健診

平成22年7月～9月
生まれ

■こども愛ランド

概ね2歳からのお子
さんと保護者

■両親学級

平成24年4月～6月
に出席予定のかた

会場・集合場所

◆健康管理センター
☆アスモ多目的ホール

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	1 ☆なかよし広場 10:00～11:30	2	3
4	5 ◆ゆきんこ広場 10:00～11:30	6 ◆あそびの広場 10:00～11:30	7	8 ☆なかよし広場 10:00～11:30	9	10
11	12 ◆ゆきんこ広場 10:00～11:30	13 ◆あそびの広場 10:00～11:30	14	15 ☆なかよし広場 10:00～11:30 ◆両親学級 13:30～16:00	16 ◆1歳6ヵ月児健診 受付 12:30～13:00	17 ◆こども愛ランド 「和菓子作り、 お茶会」 9:30～12:00
18	19 ◆ゆきんこ広場 10:00～11:30	20 春分の日	21 ◆乳児の健康相談 10:00～11:30	22 ☆なかよし広場 10:00～11:30	23 ◆4ヵ月児健診 受付 13:10～13:20 ◆1歳児健診 受付 13:00～13:10	24
25	26 ◆ゆきんこ広場 10:00～11:30	27	28	29	30	31

求人情報

右の表は、1月26日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町を主な就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますのでご了承ください。
求人情報の詳細については、ハローワーク長井(Tel84-8609)へお問い合わせください。

事業所名	職種	求人数	勤務時間
置賜教育事務所	常勤講師(英語)	1人	8:20～16:50
(有)蔵王ストア	レジ係	1人	8:45～18:00
大河内産業(有)	砂利プラント運転士、一般事務員、ダンプ・重機運転手ほか	8人	8:00～17:00
アクサ生命保険(株)長井営業所	商工会議所・商工会共済・福祉制度推進スタッフ(正社員)	3人	9:15～17:00
医療法人社団緑愛会 天の会	柔道整復師兼介護職、マツサージ師兼介護職	2人	8:30～17:30
大宮産業(株)小国工場	縫製	3人	8:15～17:00
合資会社山佐 佐藤農機店	営業・販売・整備工	1人	8:30～17:30
大和建設運輸(株)	重機運転手	2人	8:00～17:00
小国開発(株)	現場管理	1人	8:00～17:00
社会福祉法人 小国福祉会	看護師(常勤正規職員)	1人	8:30～17:30、10:30～19:30、9:15～18:15
	介護員	6人	7:30～16:30、9:15～18:15、10:30～19:30
(株)横川建設	重車輛オペレーター、土木施工管理技士【急募】	4人	8:00～17:00
伊藤建築 伊藤一郎	建築大工(見習い可)	1人	8:00～18:00
小国町役場	居宅介護支援専門員	1人	8:30～17:00
小国町立病院	看護師	1人	8:30～17:00
第一ホール小国店(有)コンズカンパニー	ホールスタッフ【急募】	1人	8:30～16:30、8:30～17:00、17:00～23:00
山形県家庭教師協会 長井事務局	完全個別指導家庭教師	10人	17:00～21:00、18:00～22:00、19:00～21:00、又は10:00～22:00の間の2時間程度

今月の納税 2012.2

2月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

- 2月27日(月) 水道料
 - 2月29日(水) 国民健康保険税(8期)、後期高齢者保険料(8期)、介護保険料、下水道料・簡易水道料、住宅使用料、保育料等
- 問合先 町民税務課税政管理室へ

横根スキー場

2月18日(土)
～レディースデー～

女性先着100名様ナイター券無料

■問合先 横根スキー場(62-4723)へ

展示作品を募集します

健康管理センターでは、入口ロビーに展示する作品を募集しています。

■展示期間

平成24年4月9日(月)～平成25年3月29日(金)の間で、1～2週間程度

■申込期間 2月1日(水)～24日(金)

■募集作品

- 趣味で作成した書道・絵画・陶芸・写真等。
お気軽にご応募ください。

■申込・問合せ先 健康福祉課へ

休日診療所をご存じですか

～お休み日も安心してご利用できます～

■診療日 毎週日曜日・祝日・年末年始 (土曜日は診察していません)

■診療時間 午前9時～午後5時

●受付時間

午前8時30分～午前11時30分

午後1時～午後4時30分

※急患は昼休みも受け付けます

■診療科 内科・小児科・外科

■その他

受診の際は、必ず保険証をご持参ください。

■問合せ先 長井西置賜休日診療所 (長井市保健センター内 長井市ままの上 7番10号 84-5799)へ

各種相談

年金相談

- 日時 2月15日(水)
10:30～14:30
- 場所 役場町民相談室
- 対応者 日本年金機構
米沢年金事務所職員
- 問合せ先 町民税務課住民窓口担当へ

人権相談

- 日時 2月22日(水)
10:00～12:00
- 場所 総合センター
- 対応者 町人権擁護委員
- 問合せ先 町民税務課住民窓口担当へ

消費者相談会

- 日時 2月25日(土)
10:00～15:00
- 場所 役場雇用相談室
- 対応者 司法書士 舟山健蔵氏
- 申込み 事前に申込みが必要です。
- 申込・問合せ先 町民税務課町民生活担当へ

行政相談

- 日時 2月25日(土)
10:00～12:00
- 場所 総合センター
- 対応者 行政相談委員 齋藤恒助氏
- 問合せ先 町民税務課町民生活担当へ

総合センター図書室から

■休館日……毎週月曜・祝日

●新着図書

- ◆金米糖の降るところ
- ◆最も遠い銀河 上・下
- ◆隠蔽捜査4 転迷
- ◆困っているひと
- ◆体制維新 大阪都

江國 香織
白川 道
今野 敏
大野 更紗
橋下 徹
堺屋 太一

- ◆池上彰の宗教がわかれば世界が見える 池上 彰
- ◆季刊地域7 いまこそ農村力発電
- ◆東大生が教えるぐんぐん「伸びる子」を
育むノート術 高濱正伸・監修
- ◆えんまのはいしゃ くすのきしげのり



- 小国町役場 02-2111(代) 02-5464
- 行政管理室 02-2112 ●政策企画室 02-2264 ●住民窓口担当・町民生活担当 02-2260
- 国保医療担当 02-2261 ●税政管理室 02-2403 ●会計室 02-2406
- 農林振興室 02-2408 ●商工観光室 02-2416 ●建設管理室・水道管理室 02-2431
- 建設技術室 02-2432 ●議会事務局 02-2448



水道水の節水にご協力ください

現在、降雪や寒気の影響などから水道水源が渇水傾向にあり、水不足が続いております。町の上水道並びに簡易水道をご利用の皆さまは、常にも増した節水を心がけてくださるようお願いいたします。

〈節水のポイント〉

1. 水を出しっぱなしにしない
2. 容器にためて使う
3. 水を出しすぎない
4. こまめに止めて使う

〈凍結に注意〉

水道蛇口やボイラーなどが凍結すると、破損漏水の原因となります。水抜きする際は、水抜き（不凍）栓は正しく操作（最後までバルブを回す）し、蛇口は開けておいてください。

操作したバルブが途中で半開きの場合、地下に水道水が流れ、水道使用量が増加しますので、ご注意ください。

■問合せ先 地域整備課水道管理室へ

税務署からのお知らせ

インターネットで確定申告

申告書の作成は国税庁ホームページの確定申告書等作成コーナーをご利用ください。

●平成23年分の確定申告

所得税 2月16日(木)～3月15日(木)

贈与税 2月1日(水)～3月15日(木)

消費税及び地方消費税（個人事業者）

1月4日(水)～4月2日(月)

●平成23年分の確定申告等の詳しい情報は、国税庁ホームページをご覧ください。
(<http://www.nta.go.jp>)

■問合せ先 長井税務署 (84-1810) へ

地域の文化活動を応援します

置賜文化フォーラムでは、置賜地域の住民の皆さんが平成24年度に企画運営する文化イベント等の事業を支援します。

■事業の例

置賜地域の文化資源を活用した文化事業、市町の枠を超えた複数の団体による文化事業、次世代の文化を担う人材の育成を目的とする事業

■支援内容

共催負担金（最大40万円）を負担します。

■募集締め切り 4月13日(金)

■その他

申し込み方法などの詳細は、教育委員会事務局へお問合せください。

■申込・問合せ先 教育委員会事務局へ

第2回 飯豊連峰保全シンポジウム

飯豊連峰保全連絡会では、これからの飯豊連峰のあり方について考えるシンポジウムと語る会を開催します。

＝シンポジウム＝

2月18日(土) 総合センター

13:00 開会

14:00 基調講演

「市民参加により見えてくる山の明日－環境保全における市民活動の意義－」山形大学農学部准教授 菊池俊一氏

15:00 パネルディスカッション

16:30 閉会

18:30 懇親会（会費5,000円）

＝飯豊を語る会＝

2月19日(日) 旧小玉川小中学校

9:00～12:00 ①地質の視点から飯豊連峰を探る②昆虫の視点から飯豊連峰を探る③フリートーク

■申込・問合せ先 2月14日(火)まで飯豊連峰保全連絡会（環境省東北地方環境事務所羽黒自然保護官事務所 0235-62-4777）へ

戸籍のまど

誕生おめでとうございます。

叶	水	進	藤	莉乃明	(和也)
					(真美)
兵庫	館	土	屋	志衣那	(真世)
					(あゆみ)
五味	沢	伊	藤	龍矢	(幸生)
					(由美子)
沼	沢	小	池	煌	(善典)
					(朋美)
小国小坂町	今	陽	菜		(裕馬)
					(舞子)
東	原	渡	部	一真	(孝太郎)
					(桜)

結婚おめでとうございます。

(宮の台)	伊藤	悠
(村上市)	坂野	真衣子

おくやみ申し上げます。

栄町	齋藤	てふ	(96)
岩井沢	小田	マサ子	(90)
小国小坂町	齋藤	和子	(75)
小国町	佐藤	幸子	(80)
東原	渡部	セツ	(87)
足水中里	栗田	静子	(81)
伊佐領	高橋	平兵衛	(87)
沼沢	大河原	安子	(82)
岩井沢	川俣	ツヨ	(101)
舟渡	川上	尤一	(80)
大滝	佐藤	光弘	(69)
綱木箱口	井上	喜作	(87)
小国小坂町	渡部	六郎	(84)
舟渡	川上	なつ江	(87)
栃倉	高野	三雄	(92)
岩井沢	舟山	慶三	(84)

人口のうごき

人口 男…4,305人(−12)
女…4,571人(−4)
計…8,876人(−16)

世帯数 3,232世帯(−4)

平成23年12月31日現在

伝えよう! 広めよう!

シリーズ22

おぐにの食文化

Oguni Slow Food Recipes



ダイコンのはりはり漬け

材料

ダイコン……1kg(生) ダイコンは干して使う。縦に4等分に切り、室内で1週間ほど乾燥させる。
スルメ(細切り)……40g タカノツメ……1本
しょうゆ……計200cc 酒……100cc
酢……50cc 砂糖……200g

作り方

- ① 干したダイコンを2mmほどの厚さに切り、100ccのしょうゆに一晩漬ける。
- ② ①をザルにあけて水気を切る。
- ③ 砂糖200g、しょうゆ100cc、酒100cc、半分に切ったタカノツメを煮立てる。
- ④ ③が冷めたら、酢50ccを加える。
- ⑤ ②にスルメを加え、④をかけて、軽めの重しをおく。
- ⑥ 2日ほど置いてから食べる。

伝承者 鈴木慶子さん(宮の台)

小国にはいろいろな漬け物がありますし、地域によって、人によって作り方は様々です。昔は、長期間保存することを念頭に作られてきたと思いますが、そうした作り方を振り返りながらも、それぞれが工夫し、こまめに手をかけていくことで、よりおいしい漬け物ができると思います。



編集後記

気象庁の予報では、この冬の日本列島は、12月の平均気温が低く、寒冬(かんとう)となる。日本海側などで、北陸や東北、北海道など、積雪量が多くなる見込みである。寒くなるにつれて、暖房器具の使用頻度が増えることになり、火の取り扱いに十分注意し、火災予防を心がけよう。また、万が一の際の避難経路を確保しておくことも大切。積雪を見越して避難経路を準備しておきましょう。(加藤)